

再評価結果（平成20年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：下保 修

事業名	一般国道248号 <small>とよたみなみ</small> 豊田南拡幅		事業区分	一般国道	事業主体	愛知県
起終点	自：愛知県豊田市トヨタ町 <small>とよたしとよたちよう</small> 至：愛知県豊田市広路町 <small>とよたしひろじちよう</small>			延長	2.5 km	
事業概要 一般国道248号は、愛知県蒲 ^{がまごおり} 郡市を起点とし、岐阜県岐阜 ^{ぎふ} 市に至る延長約88kmの幹線道路である。豊田南拡幅は2車線から4車線に拡幅を行うことで、豊田市街地の交通混雑を緩和し、安全で円滑な交通の確保を目的とした、延長約2.5kmの4車線道路である。						
H10年度事業化		H46年度都市計画決定 (H元年度変更)		H10年度用地着手		H11年度工事着手
全体事業費	約143億円		事業進捗率	79%	供用済延長	1.1km
計画交通量	40,400台/日					
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 4.9	総費用 <small>(残事業)/(事業全体)</small> 27/148億円		総便益 <small>(残事業)/(事業全体)</small> 327/719億円		基準年 平成19年
	<small>(残事業)</small> 12.1	(事業費：26/145億円) 維持管理費：1.4/2.7億円		(走行時間短縮便益：315/692億円) (走行費用減少便益：10/22億円) (交通事故減少便益：1.9/4.2億円)		
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保（現道における旅行速度の改善が期待される） ・生活環境の改善・保全（夜間騒音要請限度を超過している下市場地区の騒音レベル低下が見込まれる） 他5項目に該当						
関係する地方公共団体等の意見 豊田市幹線道路整備促進協議会より市内の幹線道路網整備として、本事業も早期整備が期待されている。						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 平成14年度に第二東名豊田東ICへのアクセスが可能となり、沿道の商業立地も良好で、豊田市の南北軸として重要な役割を担うことになってきている。						
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成16年度に1.1km供用しており、引き続き残りの用地買収、改良工事を推進し、平成21年度に事業完了を目指す。						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 平成21年度の工事完了に向け、残りの用地買収、改良工事を計画的に進める。						
施設の構造や工法の変更等 新工法による大規模なコスト縮減はないが、再生材の利用などを推進しコスト縮減を図っている。						
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	事業の必要性、事業の進捗の見込み及びコスト縮減方策と代替案の観点から事業継続が妥当である。					
事業概要図						

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。